



アルパ奏者

Takako (藤枝貴子)

二十歳でアルパと衝撃的な出会いを果たし、今から10年前に脱OL、「アルパのこともっともっと知りたい！」と恋するような気持ちでパラグアイに留学。現在アルパに癒され、励まし続けられるという幸せな毎日を送っている。新座市にある森音楽教室のアルパ科講師。

アーティスト
インタビュー
Artist
Interview

2月号のインタビューはアルパ奏者の藤枝貴子さんです。
中南米パラグアイの民族楽器・アルパが大好きという藤枝さん。明るくて親しみやすい人柄の藤枝さんに、パラグアイの楽しいお話や2月のコンサートについてのお話をいただきました。

アルパ演奏者として活動されている藤枝さんですが、この道へ進んだきっかけについてお話しいただけますか。

始めたのは20歳過ぎてからなんです。音楽学校を卒業して、弦楽器を扱う問屋に就職したんですが、そこで扱っている楽器の勉強をなささいと言われたのがアルパとの出会いですね。学校で勉強していたのもサクソだったので、アルパについては何もかも初めてでした。

最初は業務命令でしたけど(笑)、やっていくうちに興味が湧いて本格的に勉強したいと思い、アルパの本場・中南米のパラグアイに行きました。アルパはパラグアイでは国民楽器で民族音楽には定番で入ってくる楽器です。パラグアイってきっと皆さんあまり馴染みがないですよね。日本から一番離れた国で、飛行機の乗り継ぎで到着までに約36時間もかかるんですよ。公用語もスペイン語とグアラニー語なので、言葉もよくわからないまま「何とかなるか」と思って飛びこんだんですが、やっぱり生活にはとても支障がありました(笑)。でもアルパについてはなんとかわかるんですよ。やっぱり音楽は世界中どこでも繋がりがあえるものなんだと感じました。

パラグアイには2度行ってアルパの先生に教わりましたが、最初は仕事にしようとは考えていませんでした。でも先生が「せっかくだから路上演奏から始めてみたら?何か得るものがあると思うよ」と勧めてくれて、演奏するならCDまでレコーディングしてくれたんです。そこで日本に帰ってきて地元での路上演奏から活動を始めました。路上演奏では知り合いも増えて楽しかったですよ。その後、東京都のヘブンアーティストというオーディションに受かりまして都内各地でも公に路上演奏ができるようになりました。又、現在はアルパの指導や各地での演奏会に呼んで頂いて演奏活動を行っています。

アルパについて、その魅力などを教えていただけますか

アルパはスペイン語でハーブの意味なんです。私の弾いているアルパは正式にはアルパ・パラグアージャと言います。もともとはスペイン人がキリスト教の布教で教会音楽の伴奏楽器として持ち込んだもので、それが現地に根付いてパラグアイの民族音楽の演奏に使われるようになりました。ちなみにヨーロッパで発展したのがグランドハーブですね。ハーブは指の腹で弾きますがアルパ

は爪で弾きます。

魅力は、まずは音色ですね。聴いたことのない音だと私は衝撃を受けました(笑)。

とにかく音色が明るく綺麗。綺麗ではじける感じというのかな。皆さんにはよく「癒される音」と言われます。あと、アルパは楽譜がないんですよ。和音はあるんですけど楽譜がないので、同じ曲でも奏者が10人いれば10通りの曲になります。目で見て、耳で聴いて、体で覚える楽器だから、決まりがなく自由に楽しめるのが魅力ですね。楽譜が読めなくても知っている曲から始められるので楽しいと思いますよ。

2月14日の藤枝貴子ティータイムコンサートについてご紹介をお願いします。

私のアルパとフルート(演奏:前田美保さん)とのコンサートになります。アルパは皆さんにはまだ馴染みが薄いかと思いますので、プログラムには民族音楽だけでなく「さくらさくら」「蘇州夜曲」「チャルダッシュ」などを演奏しようと考えています。お勤めはパラグアイの曲で「鐘つき鳥」かな。パラグアイの曲は鳥や滝の音など自然をモチーフにした曲が多いんですが、曲を聴きながら、内陸の国の田舎のゆったりとした風景を思い浮かべて、旅をした気分になって貰えたらいいなと思っています。また色々な曲を予定していますので、アルパという楽器はこんな音楽も演奏できるんだなと身近に感じて貰いたいです。お茶する感覚で聴いてくださいね。

私のこれからの活動ですか?私は楽器を弾いていること自体が幸せなので(笑)、どんな場でも演奏していきたいと思っています。また、私の活動がほんの少しでも開発途上国のパラグアイに対して力になるなら、お世話になった国への恩返しにもなってとても嬉しいなと思っています。

藤枝貴子ティータイムコンサート
美しい弦の調べ

2月14日(日)

アルパ(藤枝貴子)とフルート(前田美保)による、美しい癒しの音色のコンサートをお楽しみください。

時間 14:00開演
会場 さいたま市文化センター 多目的ホール
料金 1,000円(全席自由・ケーキと飲物付) 未就学児不可



SaCLa メールマガジン

登録募集中